

## 今後の地震動ハザード評価に関する検討

～2013年における検討結果～

## 付 録

## 目 次

1. 付録について	1
2. 地震活動の評価モデルの概要	2
2.1 地震活動のモデル化の方針と概要	2
2.2 地震の分類	6
2.3 震源断層を予め特定しにくい地震の評価手法の概要	7
3. 地震活動のモデル	9
3.1 太平洋プレートで発生する地震	9
3.1.1 長期評価された地震のうち繰り返し発生する地震	9
3.1.2 長期評価された地震のうち震源が特定されていない地震	13
3.1.3 震源断層を予め特定しにくい地震	17
3.2 フィリピン海プレートで発生する地震	35
3.2.1 長期評価された地震のうち繰り返し発生する地震	35
3.2.1.1 相模トラフの地震	35
3.2.1.2 南海トラフの大地震	42
3.2.2 長期評価された地震のうち震源が特定されていない地震	49
3.2.3 フィリピン海プレートの震源断層を予め特定しにくい地震	52
3.3 陸側プレートの浅い地震	61
3.3.1 活断層で発生する地震	61
3.3.1.1 主要活断層帯で発生する固有地震	61
3.3.1.2 九州地域の活断層の長期評価において評価対象とする活断層	81

3.3.1.3	その他の活断層で発生する地震	93
3.3.1.4	地表の証拠からは活動の痕跡を認めにくい地震	101
3.3.2	長期評価された地震のうち繰返し発生する地震	105
3.3.3	震源断層を予め特定しにくい地震	108
3.4	南西諸島および与那国島周辺の地震	113
3.4.1	与那国島周辺の地震	113
3.4.2	震源断層を予め特定しにくい地震	114
4.	地震活動の参照モデル	117
4.1	太平洋プレートの地震	117
4.2	フィリピン海プレートの地震	128
5.	地震カテゴリー分類	137
6.	評価結果	141
6.1	3つのモデルによる評価結果	141
6.2	2011年・2012年における検討との比較	161
6.3	モデル間の比較	175
6.4	代表地点における超過確率の比較	190
7.	長期間平均のハザードマップ	199
7.1	地震活動の評価モデル	199
7.2	評価結果	200
8.	今後の課題	208
8.1	地震活動のモデル化	208
8.1.1	震源をあらかじめ特定しにくい地震のモデル化	208
8.1.2	活断層の地域評価の反映	209
8.1.3	海溝型地震のモデル化	209
8.1.4	地震のカテゴリライズの仕方	210
8.1.5	距離減衰式の改良	210
8.2	表現方法の問題	210
8.2.1	専門家以外にも理解される分かりやすい解説	210
8.2.2	低頻度の地震による地震動ハザードの表現方法	211
8.2.3	地震動ハザード評価の不確実性の説明	211
	補足資料	213
	参考文献	216
	地震動予測地図を見よう	付録-2